

EPM0.93 の新機能について

EASEプロジェクト

(日立公共システムエンジニアリング株式会社)

泉原 健史

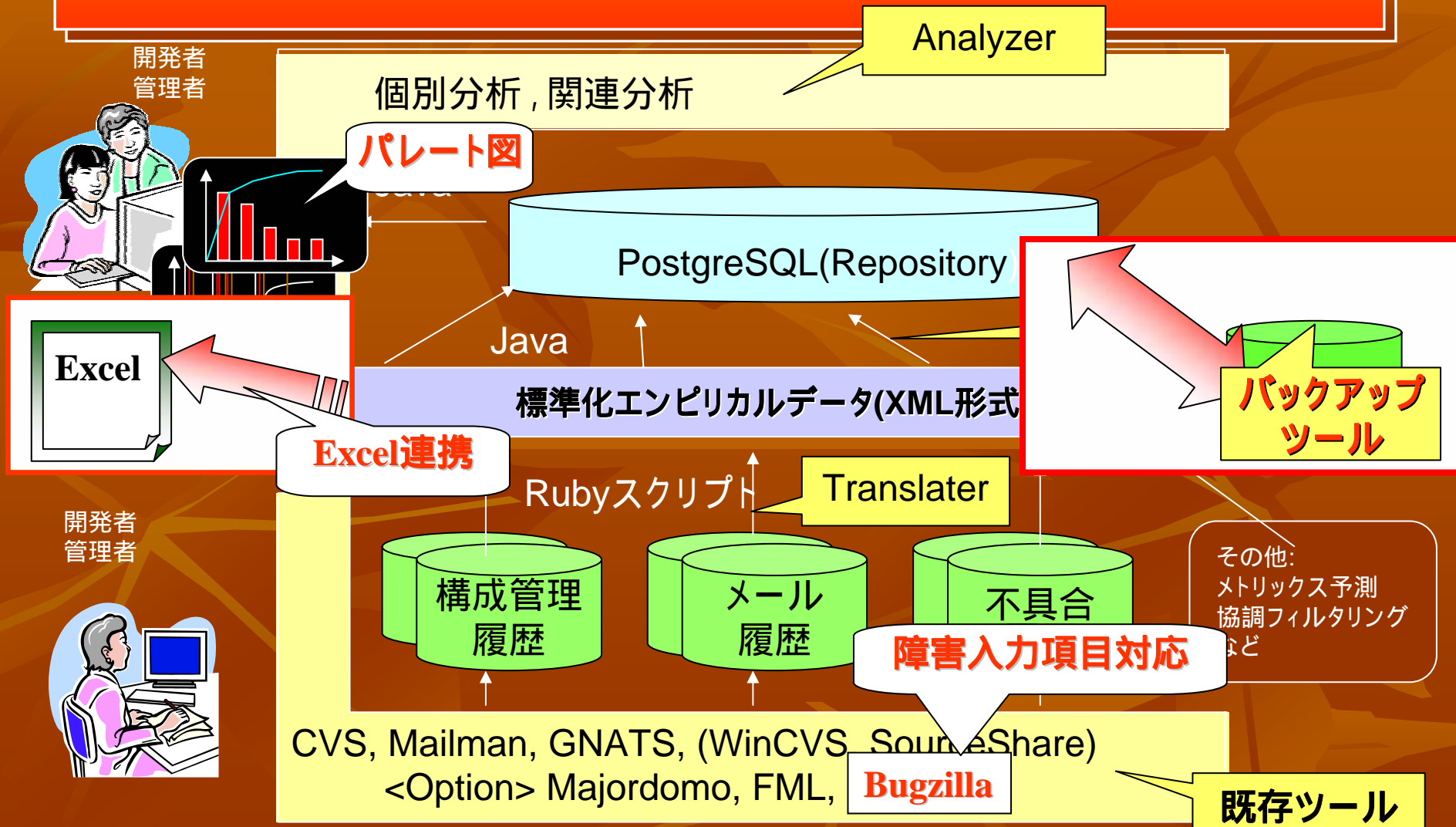
EPM (Empirical Project Monitor) とは

- EASEプロジェクトの開発ツールのひとつ
- 以下のツールの履歴を収集・表示する
 - 構成管理ツール(CVS)
 - メーリングリスト(Mailman)
 - 障害管理(GNATS)
 - オプション: Majordomo, FML, Bugzilla
- データ収集の負荷が少なく、リアルタイムに、人為的操作の少ないデータを分析できる

EPMの特長

- データの自動収集
- リアルタイム
- データ透過性
- 時系列、ランキング形式の分析が可能
- 障害管理 (GNATS) 入力項目の標準化
(EPM0.92 以降)

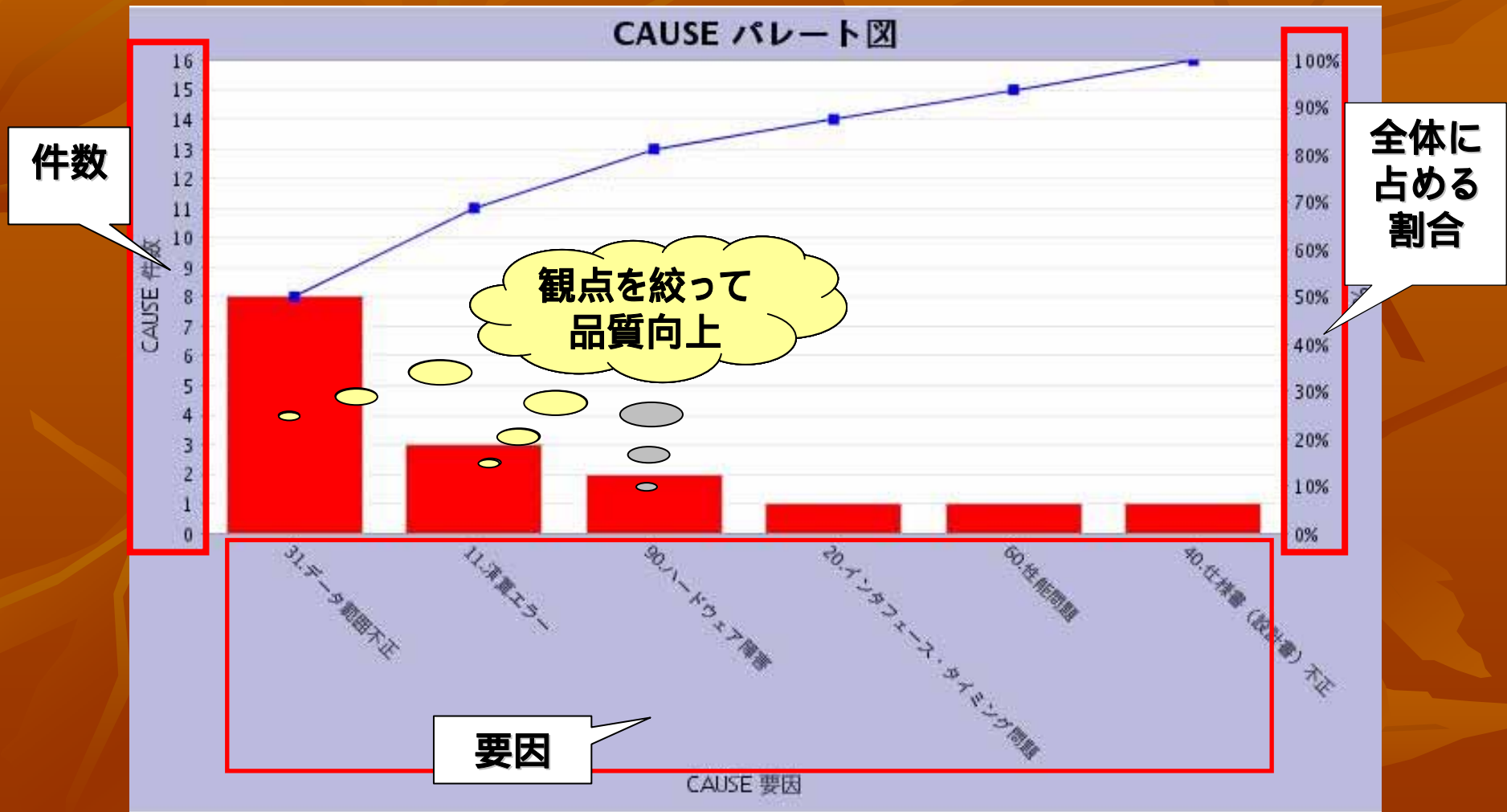
EPMのアーキテクチャ



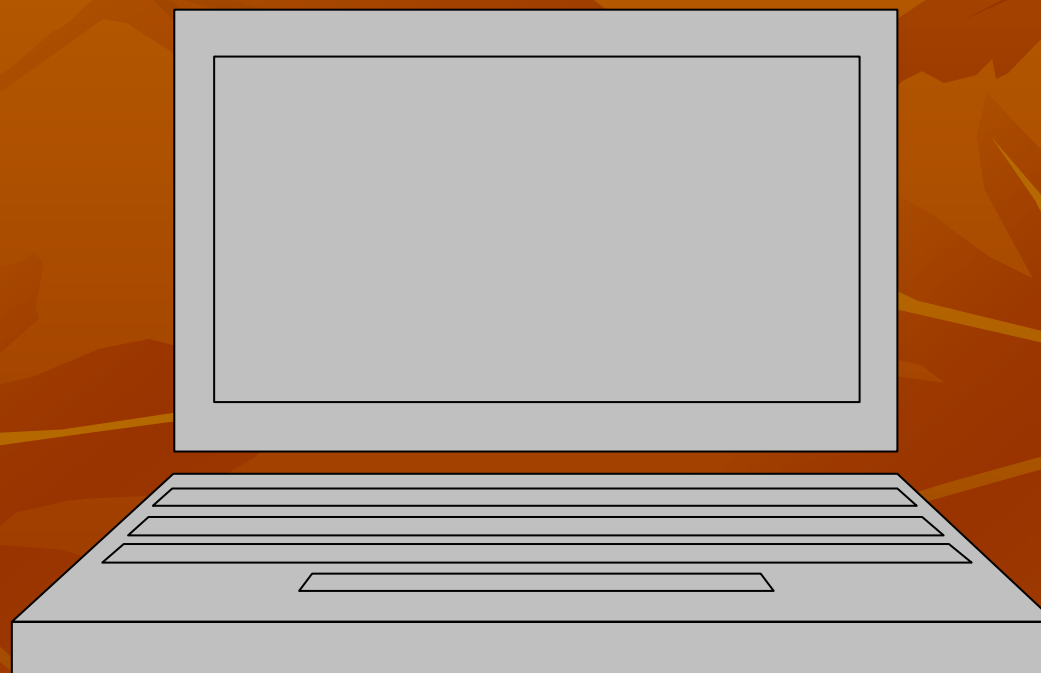
パレート図

- QC7つ道具のひとつ
- 重要な要因が明確になるので、どの要因に対策をうてば効果的かがわかる
 - (一般に)不良全体の80%は、20%の原因に由来する・・・パレートの法則
 - 出典「@IT」
<http://www.atmarkit.co.jp/aig/04biz/paretoslaw.html>

パレート図



デモ <パレート図>



Excel連携

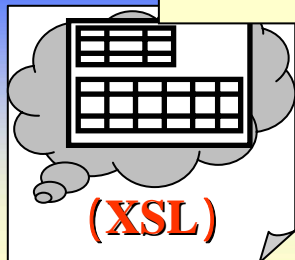
- 標準エンピリカルデータ (XML形式) をXSLTを用いてExcelが取り込みやすい形式に変換
 - XSLT: XMLを別の文章に変換するための機能を定義した仕様
(Extensible Stylesheet Language Transformation)
- ネットワーク経由でExcelに取り込める
- 名前でセル参照できるので、データ加工が容易に行える

Excel連携

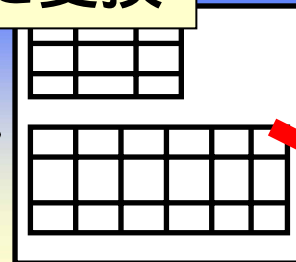
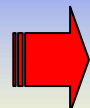
サーバ

標準エンピリ
カルデータ
(XML)

+



HTMLに変換



Microsoft Excel - Excel連携.xls

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) 挿入(I) 書式(O) ツール(T) データ(D) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)

ヘッダー情報

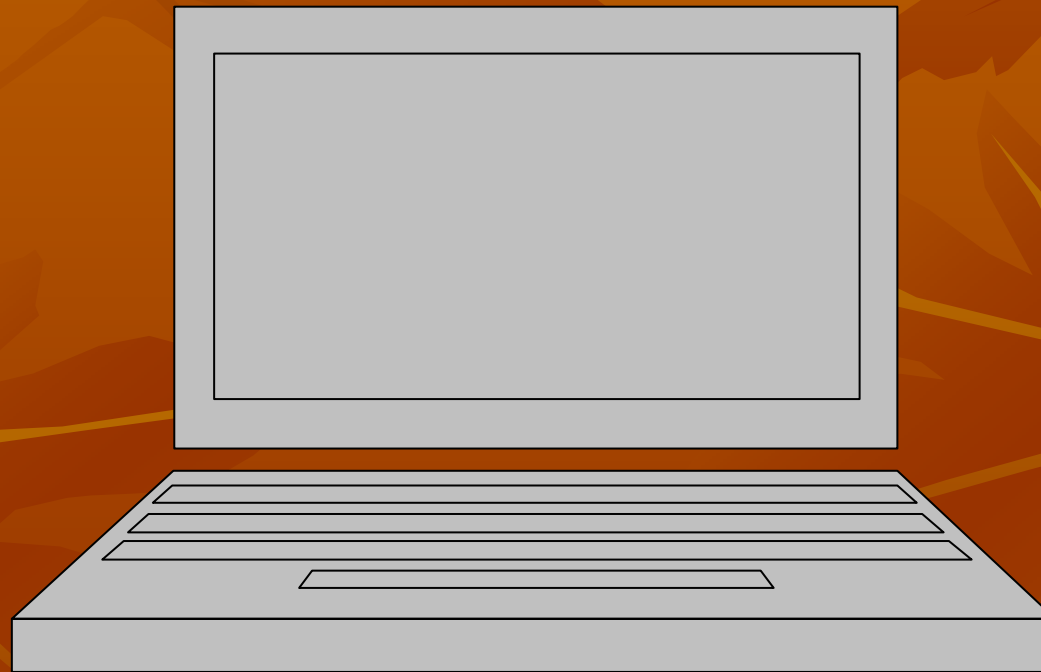
A	B	C	D	E
1	ヘッダー情報			
2				
3	プロジェクトID	/EVENT_LIST/PROJECT_ID	empirical.localdomain:sample_prj	
4	プロジェクト名	/EVENT_LIST/PROJECT_NAME	sample_prj	
5	場所	/EVENT_LIST/LOCATION	empirical.localdomain:/usr/local/gnats/com/sample_prj/	
6				
7	イベント情報			
8				
9	番号	ファイル名	報告者	入力時刻
10	BODY/NUMBER	SOURCE	OWNER	TIME
				カテゴリー
				TARGET
11	1	1 gnats@localhost.localdomain	2005/1/25 14:57	GNATS
	2	2 gnats@localhost.localdomain	2005/1/28 16:00	GNATS

Excelで
取り込み

クライアント

2005年度 第2回エンピリカルソフトウェア工学研究会 2005/09/30

デモ < Excel連携 >



バックアップツール

- RDBに登録されているプロジェクト情報の退避、管理、削除、復旧機能
- 障害管理、メール管理、構成管理、プロダクト管理
それぞれのデータを指定して退避・復旧できる

今後の展望

- データ分析の支援機能の提供
 - 集計データのExcel出力
 - 分析対象のフィルタリング
 - など…
- 利便性の向上
 - メールクライアントとしてデータを収集
 - など…

研究・開発にご協力お願い致します

お問い合わせ: info@empirical.jp

EPM0.93 の新機能について 終

EASEプロジェクト
(日立公共システムエンジニアリング株式会社)
泉原 健史